

タイ・チュラロンコン
大学から留学生来日

PD
1名 学部生
2名

12.17 12.20
1.28
2.11

2017

10.12

● 第12回関西大学・大阪医科大学・大阪薬科大学「医工薬連携の会」を開催

……関西大学からは、柿木佐知朗准教授により「循環器系デバイスを細胞機能化するためのペプチド固定化技術」、田地川勉准教授により「動物実験に頼らない心臓弁膜症発症機序の解明とその人工心臓弁開発の応用」の研究紹介が行われた。



10.15

● 「平成29年度関西大学校友総会」の記念講演に大矢裕一教授が登壇

Pick Up

10.28

● セミナー「関大の研究を体験する」で平野義明教授と河村暁文准教授が講義

Pick Up

11.18

10.31

● 第2回「KOMP若手の会」を開催

Pick Up

11.15

● 静岡理工科大学星陵高等学校で平野義明教授が出張講義

……本学高大連携センターによる高校への出張講義「関大の知に触れる」で平野義明教授が静岡県の星陵高等学校を訪れ、「化学の力で病気を治療する 命を守る化学素材」と題した講義を行った。



12.2

● 関西大学科学技術振興会「2017年度第4回研究会」で小谷賢太郎教授が講演

……小谷賢太郎教授は、「視線入力技術の医療応用—小型視野計測システムの実用化を例として—」と題した講演を行った。

2018

1.19

● 第22回「関西大学先端科学技術シンポジウム」でポスターセッションに参加

Pick Up

2.19-3.27

● 文部科学省「情報ひろば」エントランスにて本プロジェクトの紹介パネルを展示

……文部科学省「情報ひろば」では、来省する方々に向けた最先端かつ最新の情報を発信している。本学も「発見する関西大学 歴史を発見し、未来を発見しつづける関西大学」という企画展示を行い、その中で、「命を救う新しい医療用材料の発見」というテーマで本プロジェクトを紹介している。



2.21-23

● 「メディカルジャパン 2018」にブース出展

Pick Up

2.26-27

● 「イノベーションストリームKANSAI 2018」に出展

Pick Up

3.16

● 「関大メディカルポリマーシンポジウム 2018」を開催（予定）

……本学千里山キャンパス ソシオAV大ホールにて、「関大メディカルポリマーシンポジウム2018 医と工を繋ぎ、人に届ける」を開催する。基調講演に九州大学名誉教授の松田武久先生をお招きし、「バイオマテリアルが拓く組織再生への道」のテーマでご登壇いただくほか、本学・大阪医科大学のメンバー6名が、研究紹介を行う。



2017

10 15

「平成29年度関西大学校友総会」の記念講演に大矢裕一教授が登壇

於 関西大学千里山キャンパス BIG ホール 100

本学校友総会での記念講演に大矢裕一教授が登壇し、本プロジェクトを校友の方々に紹介した。大矢教授は、関大メディカルポリマー（KUMP）の開発体制を述べるとともに、KUMPが本学のブランドとして認知される必要性にも触れ、「校友の皆さんが母校の広報マンです」と呼びかけた。



2017

10 28

2017

11 18

セミナー「関大の研究を体験する」で平野義明教授と河村暁文准教授が講義

於 関西大学千里山キャンパス



平野教授の講義の様子

本学高大連携センターによる高校生を対象としたセミナー「関大の研究を体験する」で、平野義明教授が「化学の力で病気を治す—関大メディカルポリマーによる未来医療の創出—」と題した講義（10.28）、河村暁文准教授が「暮らしに役立つゼリーの世界～賢いゼリーを作ってみよう～」と題した模擬実験（11.18）を行った。この講義は、『理工系学部の学びを体験してみよう！』というテーマのもと、4回の講義と実習1回で構成された講座の一環として行われ、当日は多くの高校生が興味深く聞き入った。

2017

10 31

第2回「KOMP若手の会」を開催

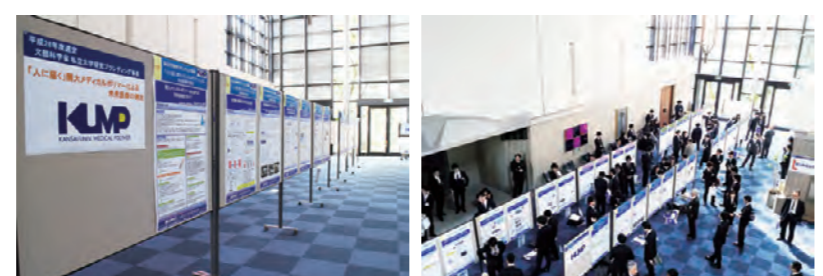
於 大阪医科大学

関西大学と大阪医科大学の若手研究者が、第2回「KOMP若手の会」（KOMPのKは関大、Oは大阪医科大）を開催した。関大からは、河村暁文准教授、田地川勉准教授が、大阪医科大からは田代圭太郎助教、斉藤高志助教が、それぞれ研究紹介をした。続いて、大阪医科大の乾崇樹講師、柿本一城講師がニーズの紹介をし、第1回同様、活発な意見交換を行った。



2018 1 19 第22回「関西大学先端科学技術シンポジウム」で
ポスターセッションに参加 於 関西大学千里山キャンパス 100周年記念会館

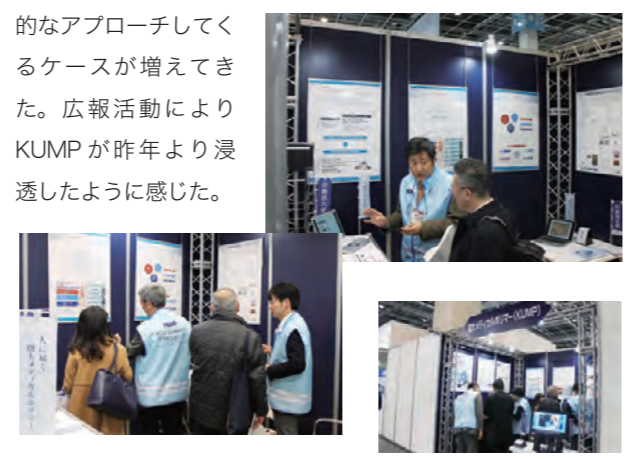
本学先端科学技術推進機構が主催した第22回「関西大学先端科学技術シンポジウム」で、本プロジェクトからは27件のポスターを展示した。ポスターセッションでは、準研究員の学生を中心に各研究テーマについて発表が行われた。



2018 2 21 ~ 2018 2 23 「メディカルジャパン 2018」にブース出展
於 インテックス大阪

年に一度開催される日本最大の医療・介護の総合展示会「関西・メディカルジャパン 2018」内「医療機器 開発・製造展」へ出展した。
今回は、関大メディカルポリマーの概要と活動状況をコーディネーターから紹介するとともに、小谷賢太郎教授の研究「視線移動情報を用いたインターフェイスの開発」、岩崎泰彦教授の研究「骨親和性に優れたポリマー」の2テーマについて各研究者から具体的な研究開発状況を紹介した。今年で2回目の出展となったブース来訪企業の特徴は、来訪者の半数は2テーマの紹介が目的で、残りの半数が他のテーマの進捗状況、面談や共同研究の可能性など昨年より具体的

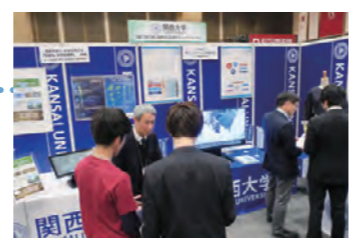
なアプローチしてくるケースが増えてきた。広報活動によりKUMPが昨年より浸透したように感じた。



2018 2 26 ~ 2018 2 27 「イノベーションストリーム KANSAI 2018」に出展
於 グランフロント大阪

「うめきた2期みどりとイノベーションの融合拠点形成推進協議会」(大阪科学技術センター)によるイベント「イノベーションストリーム KANSAI 2018 ~うめきた2期から未来へ~」がグランフロント大阪で行われ、本学も社会連携事業の取り組みを紹介するブースを出展。本プロジェクトもパネル展示を行った。KUMP展示への来訪者はJSTやNEDOを始め様々な公的私的産学連携支援機関などが4分の3程度で、残りは他の出展大学の研究者・コーディネーター、関係企業であったため、関大メディカルポリマーの概要を中心に紹介した。

紹介するブースを出展。本プロジェクトもパネル展示を行った。KUMP展示への来訪者はJSTやNEDOを始め様々な公的私的産学連携支援機関などが4分の3程度で、残りは他の出展大学の研究者・コーディネーター、関係企業であったため、関大メディカルポリマーの概要を中心に紹介した。



プロジェクトメンバーの活動

■主催学会
ICBZM2017
(3rd International Conference on Bioinspired and Zwitterionic Materials)

- 2017年10月18日 - 20日
- 於 東京大学本郷キャンパス 武田先端知ビル
- 大会長：石原一彦 (東京大学)・岩崎泰彦 (関西大学)

3rd International Conference on Bioinspired and Zwitterionic Materials (ICBZM2017)にて、東京大学マテリアル工学科石原一彦教授とともに岩崎泰彦教授が大会長を務めた。本会議では、国内外から200名を越す研究者が集い、医療・バイオ・環境保全関連に应用可能な機能材料として期待されている双性イオン分子に関する活発な議論が行われた。



■学生の国際交流
2018 Intelligent Interfaces and Membranes Symposium

- 2018年1月22日 - 25日
- 於 中原大学薄膜研发中心 (台湾)
- 出席者：井上直之 (M2)、伊藤巧真 (M2)、岩崎紗奈 (M2)、岩崎泰彦

岩崎泰彦教授と大学院生3名が、台湾桃園市中壢区にある中原大学膜センターおよび国立中央大学を訪問した。岩崎教授が各大学で特別講義を行ったほか、中原大学で開催されたIntelligent Interfaces and Membranes Symposiumで、大学院生も自らの研究成果を口頭(英語)で報告した。

